

# 92664

2.4GHz FHSS-1 6-Channel  
Park FLYER Receiver

# 取扱説明書

このたびは、SANWA 2.4GHz 92664をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。

本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。



## 注 意 安全に使用していただくための注意事項

- 本製品92664はSD-10G、Stylus 2.4GHz、RDS8000専用です。その他のプロポには使用できません。
- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数帯はISM（産業、科学、医療）バンドと共に共用されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- 飛行場等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを飛行させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で飛行してください。
- 日本国内では、技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていない送信機やモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られているプロポやモジュールの使用を推奨します。



※技術適合証明ラベル例



## 注 意 安全に使用する際の注意事項

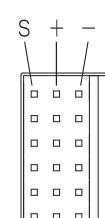
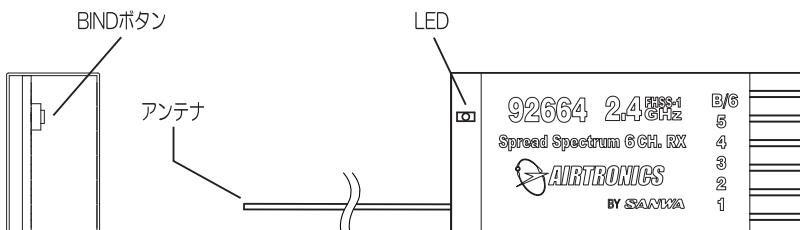
- ほかの機器によって2.4GHz帯域を使用している場合や、同域のノイズが周囲に発生している場合があります。必ず飛行前にはベンチテストをおこなって、正常にサーボが動作していることを確認してください。
- 使用中は送信機のアンテナを握ったりしないでください。電波の出力が弱くなり飛行できる範囲が狭くなるので危険です。
- 送信機のアンテナは特性上、金属製のクリップなどをアンテナに取り付けないでください。
- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。厚手のスponジ等を使用し、防振対策をおこなってください。
- 受信機のアンテナ線は構造上デリケートにできていますので、決して乱暴に扱わないでください。特に強く引っ張ったり、ケースに押し込んだりしないでください。
- 受信機のアンテナ線を切ったり、延長して使用しないでください。
- 電動機に受信機を搭載する場合は、アンテナ線を出来るだけモーター、バッテリー、FETスピードコントローラーから離してください。
- 受信機を搭載する場合は、アンテナ線がカーボンや金属部品などの導電性のものに接触しないようにしてください。飛行機の胴体やヘリコプターのボディがカーボンファイバー製の場合はアンテナ線を胴体の外に出してください。
- コネクターが緩くなっていると、飛行中に操縦不能になる可能性がありますので、フライト毎に受信機、サーボ、スイッチハーネス等のコネクターが充分固定されていることを確認してください。
- プロポの電源スイッチをONにする時は必ず①送信機→②受信機の順番でおこなってください。また、OFFにする時は①受信機→②送信機の順番でおこなってください。※スイッチ操作を誤って逆にすると突然エンジンやモーターが高回転になり、大変危険です。

## 2.4GHz 各部の名称

### テクニカルデータ

CH数 ······ 6ch  
使用電源 ······ 4.8~6.0V

寸法 ······ 40.0 x 18.5 x 11.0mm  
重量 ······ 6.0g  
電波通達距離 ······ 約150m



CH6	フラップ/パッテリー
CH5	ギア
CH4	ラダー
CH3	スロットル
CH2	エルロン
CH1	エレベーター

## 2.4GHz ■■■■■ BIND(バインド)の設定方法

※BIND(バインド)とは: SD-10G、RDS8000、Stylus用TM-1230モジュールはそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもつていて、そのID番号を受信機に記憶されること(BIND/バインド)です。BIND設定した送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。  
(1台の送信機に複数の受信機のBINDは可能です。)

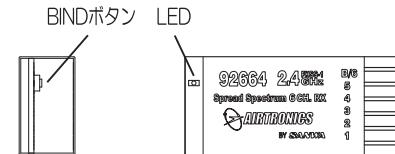
※SD-10Gに使用される場合はBINDをおこなう前に送信機のMODULATION設定を必ずFH1に変更してからBINDをおこなってください。  
(FH1ではSAFETY LINKの設定はおこなえないのでご注意ください。)

※使用する送信機(SD-10G、RDS8000、Stylus)の取扱説明書に従ってBIND設定をおこなってください。

※スロットルスティックが最スローの位置に有ることを確認してください。

電動機の場合はモーターを接続しないでください。

- 受信機のBINDボタンを押しながら受信機側の電源スイッチをONにします。
- 受信機のLEDがゆっくりとした点滅になるのを確認したら、BINDボタンを離します。
- 受信機のLEDがゆっくりとした点滅の間に送信機のBIND操作をおこなってください。
- BIND作業が終了すると受信機のLEDが点灯します。これでBIND設定は完了です。



## 2.4GHz ■■■■■ 受信機の搭載方法

①受信機のアンテナ線は構造上デリケートにできていますので、決して乱暴に扱わないでください。

特に強く引っ張ったり、ケースに押し込んだりしないでください。

②受信機のアンテナ線を切ったり、延長して使用しないでください。

③導電性の素材の機体に搭載し、アンテナ線が導電性の素材に囲まれた状態になる場合には、必ずアンテナ線を機体の外に出して取り付けてください。  
導電性の素材にかこまれているとアンテナ線が信号を受信することができなくなります。

④受信機本体やアンテナ線はFETスピードコントローラー、モーター、エンジン、バッテリーから極力離して搭載してください。  
FETスピードコントローラー、モーター、エンジンはノイズの発生源ですので、受信に悪影響を及ぼす恐れがあります。

⑤アンテナ線はリンクエンドなどと平行になるように配置しないでください。

※影響により受信性能が発揮されないことがあります。

## 2.4GHz ■■■■■ フェールセーフの設定方法

●フェールセーフとは、レシーバーが電波を受信できないような状況になった場合に、スロットルサーボやFETスピードコントローラをあらかじめ設定しておいた位置にする機能です。スロットルポジションをLow側にするなど、飛行中に操作が不能になった時に安全だと考えられる位置に設定します。BIND設定が完了したら、フェールセーフの設定をおこなうことができます。

①送信機の電源SWをONします。

※警告音がする場合は、スロットルスティックを最スローに、ヘリタイプで使用している場合はライトモードノーマルの状態で再度電源をONにします。

②受信機側の電源SWをONして、レシーバーのLEDが点灯していることを確認してください。

③送信機を操作して、サーボが動作することを確認してください。

※サーボが動作しないようであれば、BIND設定をやり直してください。

④フェールセーフを働かせたい位置に送信機のスティックを操作して、そのままの位置を保持しながら受信機のBINDボタンを押し続けます。

受信機のLEDがゆっくりとした点滅、次に高速点滅し、最後に点灯してフェールセーフの設定は完了です。

BINDボタン、送信機のスティックを離してください。

※受信機のLEDが点灯するまでBINDボタンを押し続けてください。

⑤送信機の電源スイッチをOFFにしてフェールセーフが適切に動作するか確認してください。動作確認できたら送信機の電源スイッチをONしてサーボが操作できることを確認してください。

### △ 注意

●安全のため、フェールセーフの設定を必ずおこなってください。

●フェールセーフの設定をおこなったあとでBIND設定をおこなうと、フェールセーフの設定がクリアされますので、再度フェールセーフ設定をおこなってください。

●レシーバー側の電圧が低下した場合にはフェールセーフ機能は動作しません。

●設定できるのは1ch~4chのみです。(※5ch/6chは設定できません。)また、各chは一括設定となりここに設定することはできません。

## 2.4GHz ■■■■■ 修理について

調子が悪いときはまずはチェックを!

修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上、お近くのサービスへ修理依頼してください。

また、ご質問、お問い合わせがありましたら、お近くのサンワサービスにて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝祭日を除くAM9:30~12:00、PM1:00~5:00です。

**修理依頼カード** このカードに故障状況を詳しくご記入のうえ、必ず製品と一緒にお送りください。

フリガナ

お名前

電話 ( )

〒

ご住所

故障状況



三和電子機器株式会社

本社/東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 Tel.072(964)2531

東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)

〒111-0053 Tel.03(3862)8857

本社サービス 東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 Tel.072(962)2180

東京サービス 東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)

〒111-0053 Tel.03(3862)8858